

東田利町報

No. 287 昭和54年2月1日発行 昭和42年7月21日第3種郵便物認可 毎月1・15日発行



No. 287

2
1

《“協調性” 養う東中寄宿舍》

今年で8度目の冬を迎えた東中寄宿舍。

ここでは、遠距離通学の子どもたちが親元を離れ、11月から3月まで多くの仲間とともに“同じカマのメシ”を食べています。

日常生活の中では個々がそれぞれの係を分担し、時にはレクリエーションを取り入れながら楽しい毎日を過ごしています。

規則正しい団体生活は、子どもたちに自立心や協調性を養い、友との熱い友情の芽を育てています。

春はもうすぐ！頑張れ東中寄宿舍生。

水田利用再編対策追跡レポート

目標上回る転作等実施面積

転作の六十パーセントは飼料作物

米の生産過剰基調を背景に、米の需要を均衡させつつ、米以外の農産物の総合的自給力の向上を図ることを目的に十年間実施されるという水田利用再編対策一年目。

田利用再編対策一年目。

本町では、各農家の理解と協力により、配分された目標面積を上回る実施結果となりました。

収穫物の

ほとんどが自家用

万七千九百十六円の交付を受けました。作目別の内訳等は別表の通りです。

これによると、転作面積のうちで最も多いのが飼料作物で全

体の約六十パーセントを占め、次いで大豆、たばこ、野菜、小豆の順となっており、全体では目標面積の約一・一倍に当たる八十六・七割となっています。

え合せ、各農家が圃場条件等を勘案しながらも、自分の農業経営の中で最も取りつきやすい作物を選んだ結果と見られます。また、収穫物のほとんどが自家用とされ、販売したものは極

計画転作実施は十五集団

めて少なく、今後、所得の向上を考え、大豆や野菜類など換金性の高い作物をいかに導入していくかが大きな課題といえます。

また、できるだけ有利な計画転作を——と進めてきました計画転作には十五集団（黒洲・地下の沢、石高、下小路、久保、五海保、八日町、寺田、新町、桂台、島、中の沢、高村、大台、畑村・奥ヶ沢）が取り組み、奨励補助金のほか二百九十八万七千九百九十九円の計画加算金を受けました。

昭和五十三年度本町に割り当てられた転作等目標面積は百四十割。うち転作は七十九割。町ではこれを受けて一早く対策協議会を設置するとともに、部落代表者会議や部落座談会等を通じて農家の理解と協力を要請しました。

その結果、転作等実施農家は八百五十戸で、その面積は目標の約一・二倍に当たる百六十八・三割となり、奨励金八千五百五

〈別表〉昭和53年度水田利用再編対策実績

転作目標達成率(C/A)			109.8%	転作等目標達成率(D/B)		120.2%		
項 目			面 積	奨励金	計画加算金	特別交付金	備 考	
目標面積	転 作 (A)		a m ² 7,900.00					
	通 年 施 行		6,100.00					
	計 (B)		14,000.00					
転作作物目別内訳	特 定 作 物	大 豆	1,355.30	円	円	円	〈飼料作物〉 デントコーン a m ² 696.22 混播牧草 a m ² 4,508.51 〔転作等実 施農家数 ＝ 850戸〕	
		飼料作物	5,204.73					
		ソ バ	9.00					
		小 計	6,569.03	38,858,748	2,388,072			
	永年性作物	果 樹	153.70					
		小 計	153.70	837,330	166,800			
	一 般 作 物 等	野 菜	413.43					
		小 豆	396.72					
		た ば こ	512.38					
		林 木	234.67					
		養 魚 池	42.90					
		水田養魚	20.44					
		農業生産施設用地	48.89					
		小 計	1,669.43	7,327,138	432,327			
	管 理 転 作	転 作	0					
		保安全管理	279.63					
		小 計	279.63	1,192,652				
合 計 (C)		8,671.79	48,215,868	2,987,199				
通 年 施 行		8,157.93	36,842,048					
転作等計(D)			円 16,829.72	円 85,057,916	円 2,987,199	円 1,343,847	合計 円 101,484,968	

(町産業経済課資料による)

今年国際児童年



国連で「児童権利宣言」が採択されてから、今年でちょうど二十年目に当たりますが、これを記念して、今年を「国際児童年」とすることに決まったものです。

「子供は民族の宝」という考え方にたつて、国際児童年を機に児童問題についての認識を高めて、いま子供たちがほんとうに幸せなのかどうか、子供たちを取りまく生活環境はこれでもいいのか、など、それぞれ関心を高めていこうという年なのです。

とくに、中心機関であるユニセフ(国連児童基金)では、開発途上国の恵まれない子供たちの問題の解決に重点を置くことにしています。

わが国でもこの趣旨にそつて、国際児童年事業推進会議が関係省庁民間有識者の参加のもとに昨年六月に設置され、児童問題についての啓発活動、国内施策の充実および児童年を機にした国際協力検討されています。



複合経営の確立のためには換金性の高い作物の導入が必要

町県民税の申告相談は次の日程で

税金の申告相談が次の日程で行われます。
申告書は、町県民税等の賦課資料となる大事なものです。
昭和53年中の収入明細や支払証明書等を準備し、正しい申告をしましょう。
出かせぎ者や会社員等で勤務先から源泉徴収票を交付されている方は、確定申告をすることによって納め過ぎた所得税が還付されることもあります。

月日	午 前 (9時~12時)		午 後 (1時~4時)	
	相 談 部 落 等	会 場	相 談 部 落 等	会 場
2.5 月			確定申告説明会	開発センター
14 水	智者鶴	部落会館	向田	部落会館
	泡ノ沢	〃	藪沢、黒沢、地下ノ沢	八塩館
15 木	田代、石高	田代福祉館	高戸屋、下小屋、時雨山	田代福祉館
16 金	新沢	部落会館	須郷田	部落会館
	松柴	〃	板戸	〃
	館合新田	〃	午 前 中 に 同 じ	
17 土	家の下、下小路、宇戸坂、館西	農協玉米支所	八日町、五海保、山崎、久保	農協玉米支所
19 月	確定申告相談	役 場	午 前 中 に 同 じ	
20 火	同	上	茂沢、湯出野	役 場
21 水	下通、寺田、上里	役 場	新町、横小路、上通、中通	〃
22 木	島	部落会館	宮ノ前	部落会館
	岩館、横渡	大蔵館	蔵、蔵新田	大蔵館
23 金	大台	大台分校		
	黒沢	部落長宅		
	高村	高村分校		
24 土	小倉	小倉会館	中ノ沢	小倉会館
	野田、新処	克雪センター	十二ノ前、桂台	克雪センター
26 月	祝沢	部落会館		
	大吹川	〃	須郷	部落長宅
	高屋	〃	土場沢	部落会館
27 火	袖山	〃	下吹	〃
	沼	〃	宿	〃
		沼分校	杉森	部落長宅
28 水	奥ヶ沢、畑村	舟木会館	舟木	部落会館
	大琴上、中	部落会館	大琴下	〃
3.1 木	確定申告相談	役 場	午 前 中 に 同 じ	
7 水	三税共同申告相談	開発センター		〃

※申告書は2月上旬に配布します。申告期限3月15日。

簡易サイロの設置は七十八基

町では、円滑な水田利用再編対策を推進する為に、国県の推進策とは別に町単独の補助策を講じました。

この利用状況について、町産

業経済課が昨年の十二月十五日現在で取りまとめたところによると、粗飼料確保策としての簡易サイロ（コンパネサイロ）設置は、六十八戸、七十八基となっており、年度末（五十四年三月末）までにはさらに増え約百基になる見込みといわれます。

また、計画転作地区補助は、前述の十五集団の転作面積のうち団地に係る分約十六分について七十九万八千円（十戸当り五千円）が交付されています。

なお、土地条件整備の為に転

換金性の高い作物の導入を

水田利用再編対策は十年間継続

作促進排水事業（明、暗渠）については、秋施行の関係もあり同日現在ではまだまとまっておりません。

このほか、県資金を運用し、転作用農業機械の購入や土地条件整備等に係る経費に対して融資する「転作農家特別貸付金（無利子）」は、十二月二十日現在で三十六件、千六万一千円（一件当り三十万円を限度）が貸付認定を受けています。

続いて行われるもので、今、転作丸がその船出をしたばかりといえるでしょう。

転作作物が定着するまでにはまだまだ解決しなければならぬとい多くの問題が内包されているといわれ、また、目標以上の転作を実施しながらなお余り米を生じた現実を見ると、今後米をめぐる情勢はますます厳しいものになると予想されます。

こうした時期こそ、指導者、農家がお互いに理解、協力し合って、この難局を克服していくという姿勢が必要でしょう。

町では、昨年の転作結果をふまえ、五十四年においては、現

所得税・贈与税の申告はお早めに

贈与税の申告は二月一日から、所得税の確定申告は二月十六日から、それぞれ受付が始まり、どちらも三月十五日が申告期限です。期限間近になると税務署は大変混雑します

ので、申告はできるだけ早く済ませるようにしましょう。

なお、サラリーマンなどで雑損控除や医療費控除、住宅取得控除などの還付を受けるための申告は、二月十六日前でも受付けています。

計算の仕方や申告書の書き方などわからないときは、説明会や申告相談、税務署などでお尋ねください。

行の補助推進策を継続するとともに、市場性や需要の動向等を考慮し、農家の所得を上げ、複合経営の確立を目ざして換金性の高い作物を栽培するよう、その栽培技術普及など具体的なことについて、農業団体等と検討を進めています。

葉たばこ売渡額一億円突破

長年の夢実現を祝う

昭和五十三年産葉たばこ売渡額が一億円を突破——これを記念して、町葉たばこ耕作振興会（遠藤聚一会長、会員百十八名）では一月七日、町開発センターで「葉たばこ売渡一億円突破記念大会」を開きました。

当日は、町内葉たばこ耕作農家のほか、専売公社増田葉たばこ生産事務所長、町長、町議会議員、農協役員など多くの来賓も出席、意義深い一日を共に祝いました。

大会では、遠藤振興会長が「……売上げ一億円達成は耕作民一同の長年の願望であった。……本町に初めて葉たばこ耕作が許可されたのは昭和十三年と聞

葉たばこ売渡1億円突破記念大会



今後も耕作民一同心を合せ、農家経済の安定を図るべく努力したい……と式辞を述べる遠藤会長

く。以来四十年の間一年も休むことなく栽培され続け、今後も続くものと信ずる。この大会を契機に、関係各方面の御指導に基き、土作りに励むとともに、耕作民一同心を合せ、増産意欲をもやし、町の重要産業として社会的地位を高め、農家経済の安定を図るよう努力していきたい……」と式辞を述べ、つづいて、長年にわたって葉たばこ耕作振興に寄与してこられた六名の方々に町長及び振興会長から感謝状が贈られました。

畜産に次ぐ拡大 作目として期待

このあと、専売公社増田葉たばこ生産事務所長、町長、町議会議員、農協長、増田たばこ耕作組合長らからお祝いのことばがあり、出席者全員が耕作者の夢実現を心から祝っていました。

昭和五十三年の町葉たばこ作付けは、百十八戸、三十畝で、収量七万八千三百十二キ、総売渡額一億七千四百三十三万四千五百円となっています。

入化や嫌煙権運動など、葉たばこ栽培を取り巻く情勢も厳しいものとなり、公社の指導方針も量から品質重点に変わり、さらに現在では、米と同じく生産調整が実施されています。

こうした情勢の中にあつて本町では、二次農構による二十畝の畑地造成で、五十四年には七・三畝の増反が認められ、五十五年にはさらに増え町全体では四十数畝となり、増田たばこ耕作組合管轄の三市三郡二十カ市町村の中では一位、若しくは二位の植付面積が確保される見込みで、耕作者にとっては明るい話題となっています。

水田利用再編対策が実施され、米単作からの脱却をせまられている本町農業にあつて、この葉たばこ栽培は畜産に次ぐ拡大作目として重要であり、一億円突破はこうした事からも深い意味を持ち、今後、「二億円突破」というようなさらに大きな目標に向つて発展し続けるよう関係者は期待しています。

なお、感謝状贈呈者は次のとおりです。

- 〔町長感謝状〕 佐藤正一（菰沢） 佐藤徳四郎（泡の瀧） 高沢照春（菰沢） 遠藤吉蔵（新処） 遠藤聚一（宿）
- 〔町葉たばこ耕作振興会長感謝状〕 小松兵亮（館合新田）

冬の道路は “百面相”です 安全運転を！

町長日記

睦月（陰暦一月）、予算編成の季節。

○五十四年度の県営圃場整備と農村環境整備モデル事業の本省陳情。構造改善局次長の岡部三郎氏に会った際、米の未来学という本が書棚にあつたので談が米に及び、学校給食のパンが米消費減退の因ということになった。学校給食開始の時点に於て誰が今日を予想したであろうか。定住圏構想についても話し合う。

先般、大蔵省で農林担当の主計官に会った際、日本林業の将来を聞いてみた。「日本人は皆んな法隆寺の様な住宅に住むであろうか？ 林野庁から優良林について言われているが……」という答であつた。米、林業——農村が不透明の中にある。しかし、いつの時代でも将来がハッキリ見透せたということがそんなにあつたらうか。

国の予算案が決まって国会が開かれた。首相はじめ、各大臣の施政演説の評価はいつも芳しくない。

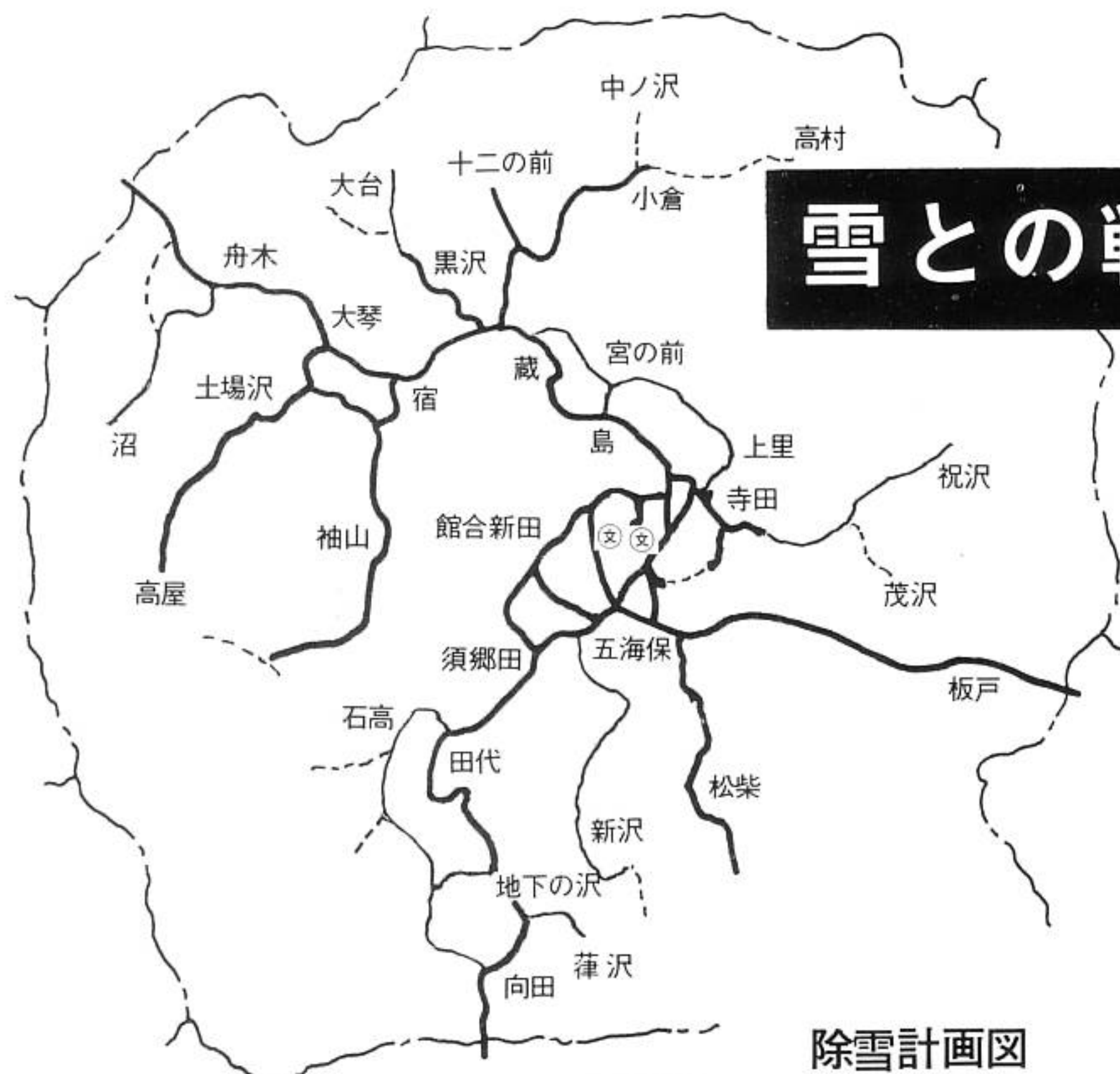
大抵、美辞麗句が多くて抽象的だという批判になる。私は、そう言う方が無理な様な気がする。何故かというところ、

具体的にハッキリ言うのと反面を突く政治風土があるため、八方美人的な表現にならざるを得ない。ケネディのような格調の高い施政演説が日本にも欲しいものと思ひながら。

旧臘、雄勝町の歴史を読む機会があつた。有屋峠という峠があつて、現在の鬼首峠（秋田県と宮城県の間）雄勝峠（秋田県と山形県の間）の間あたりにあることである。奈良朝時代、多賀城から秋田城に至るルートが有屋峠を越え、秋の宮、明治、東田利、本荘、秋田城に至っている。当時の官道（軍用道路）が当地を通っていたことは感慨深い。

たまたま、古事記の編者大友安万侶（おおのやすまろ）の墓が発掘される。千二百年前の實在不明の人物が現実に存在した事が実証された事は歴史学の驚異であろう。墓誌の「從四位下勳五等」の官位は現在との違いがなく、千二百年の時間が急に短縮されたような感じになる。

混乱の時代歴史に学ばなければならぬ。立春も間近。何事もなくて春たつあしたかな



雪との戦いこれから

除雪には全町民の協力を

朝三時からブル稼働

雪も少なく、異常ともいえる暖かきで明けた新年も、雪との戦いはこれからの二カ月が勝負です。

本町のように、一年のうち約三分の一が雪に閉ざされる地域にとっては、住民生活や産業、

経済活動に大きな影響を及ぼす交通路の確保と雪害対策は、冬期間の最優先事項として取り組まなければならない問題の一つです。

町では、積雪による交通の途絶や混乱を防ぐため今冬も、オ

除雪計画図

凡 例	A 種路線及び 県委託路線	——
	B 種路線	——
	C 種路線	----

みんなの協力で
快適な冬の暮しを

交通路の確保は冬の
最優先事項



- 除雪作業に際しては、先月号でもお願いしておりますが、合せて次の点についても町民の皆様のご協力をお願いします。
- 待避所は交通交差のためのものです。駐車場がわりにはしないでください。
- 皆さんが除雪した各戸の出入口に除雪車が雪を置いていく苦情はわかりますが、公共性を考えて各戸で取り除いてください。
- 路上には違法駐車や故障車の放置はしないでください。
- 屋根の雪や宅地の雪は、道路に持ち出さないでください。
- 屋根の雪が道路に落ちる構造の方は、雪が落ちたときには自分で速急に処理してください。
- 道路上に置いてある建設、建築資材等は速やかに除去してください。
- 歩道の除雪は、部落などで協力して行い、歩行者や自転車の安全を図ってください。
- 冬期間の自動車運転にはタイヤチェーン、スコップ、長靴、防寒具等の装備をお忘れなく準備してください。
- このほか、木の枝など除雪作業に支障のあるものについては係の職員が切り落としなどのお願いにあがることもありますのでご協力ください。
- なお、除雪に関する問い合わせは町建設課へ。

除雪にはみんなが協力し合い、ともすればとじこもりがちな冬の季節を、少しでも快適に過ごせるよう心がけましょう。

一滴

不景気風が、遠慮なしに頬をたたいて吹き抜けていく世の中、せめて大きな夢でも——と、年々宝くじを買う人が増えているといわれる。

さて、この夢にまでみた高額宝くじが当たったらあなたならどうする。

長野県の三十六歳になる独身社員に一千万円が当たった——とここまで聞けば、なんともうらやましい話、となる。

だがこの会社員、あまり騒ぎが大きくなって、親しかった同僚が口をきかなくなり、職場での人間関係もうまくいかなかった——と、周囲の止めるのもきかずに、当りくじを同僚の目の前で焼き捨ててしまった。「なんと、もったいない」と思ったのは私だけだったろうか。

このように騒がれる。ケースはよくあるといわれる。他人の幸福を目の前にして、周囲にねたみやせん望が渦巻きがちなのは、万物の霊長らしからぬ、人間の弱さでもあるという。それにしても、焼く以外に方法は考えなかったのだろうか。まだ他にも手はあると思うが。金はやはり「魔物」か。

理論とともに実行能力を養成

町農業後継者岩手で研修

県内外の農業の実情を見聞し、農業人としての視野を広め、個々の経営を見直すとともに、東田利農業の可能性を探ろう——と一月十六日、十七日の二日間、畑山町産業経済課長を団長とする当町では初の農業後継者研修バスが岩手県下で実施されました。

町内の農業青年十六名と、町、農協の関係職員、それに、本荘農業改良普及所の斎藤昭市郎普及専門員で構成された研修団一行は十六日午前七時三十分、研

修先の滝沢村に向って役場前を出発しました。

最初の研修地は、指導員や普及員を担う者の教育を行っている県立盛岡農業短期大学校。

ここでは、白石三郎校長先生から、学校の概要と、岩手県農業の現状について紹介してもらい、つづいて、同校の畠山貞雄氏から、農業後継者のあり方について、をテーマに講話をしてもらいました。

この中で同氏が、「……理屈どおりにいかないところに農業

のおもしろさがあり、理論だけでなく、実行できる能力を養わなければならぬ……」と熱っぽく話すと、研修者はその一言ひとことに大きくうなづいていました。

つづいて、岩手県立農業試験場の大川技術部長から、冷害克服と良質米の生産について、の講話がなされ、良質米の定義は……といったような活発な意見交換がなされました。

このあと、同県立畜産試験場を訪問。



時期別入荷量と価格の変動は……などと細かく質問



農業後継者のあり方について……の講話に真剣に耳を傾ける



粗飼料給与のみの肥育試験に注目

同場竹村技師の案内で、乳用種子牛の育成技術確立試験（春産子牛の放牧肥育法）や若令肥育における成形粗飼料の利用に関する試験、日本短角種の産肉能力検定などの試験研究をしている場内を見学し、一日目の日程を終えました。

複合経営の

先進地「志和」

二日目——宿舎を午前八時前に出発した一行は先ず、都南村にある盛岡中央卸売市場を視察。レタスやネギなどのセリ状況をみながら、東青果係長から同市場の流通の実態等について説明を受けました。

これに対して一行は、水田利用再編対策実施による市場への影響は、市場側から見た有利な転作物は、野菜やシイタケ等の入荷量、時期と価格の変動は、などといったような質問をするなど、真剣にメモを取っていました。

このあと、盛岡市の南十八

にある柴波町を訪れ、同町役場で、高橋農林課長から町の概要について紹介されたあと、複合経営の推進と実態について、同町志和農協村上営農部長から同農協の実践例が紹介されました。

ここは、いわゆる「志和型」と呼ばれる複合経営の先進地で、出かせぎからの脱却と、労働力の農業内燃焼を目標に、拡大部門にシイタケ、肉用牛、養豚、キウウリ、ニンニクといった作物を取り入れ、その経営を完成しつつある全国的にも注目をあびているところだ。

一泊二日にわたった研修を終えた青年たちは、自分のこれから生きていこうとしている農業の、将来あるべき姿について何かしらの糸口を見出したようであり、今後は、これをどういった形に表し、確立させていくかが大きな課題といわれます。

どんな形に表すかが今後の課題

今回の研修は、単なる視察見学でなく、研修地の機構や組織などについて、わが町の現状と比較しながら意見の交換を行い、よりよい方向を探り出そうとしたものです。



明日へのファイトを胸に、バスを降りる

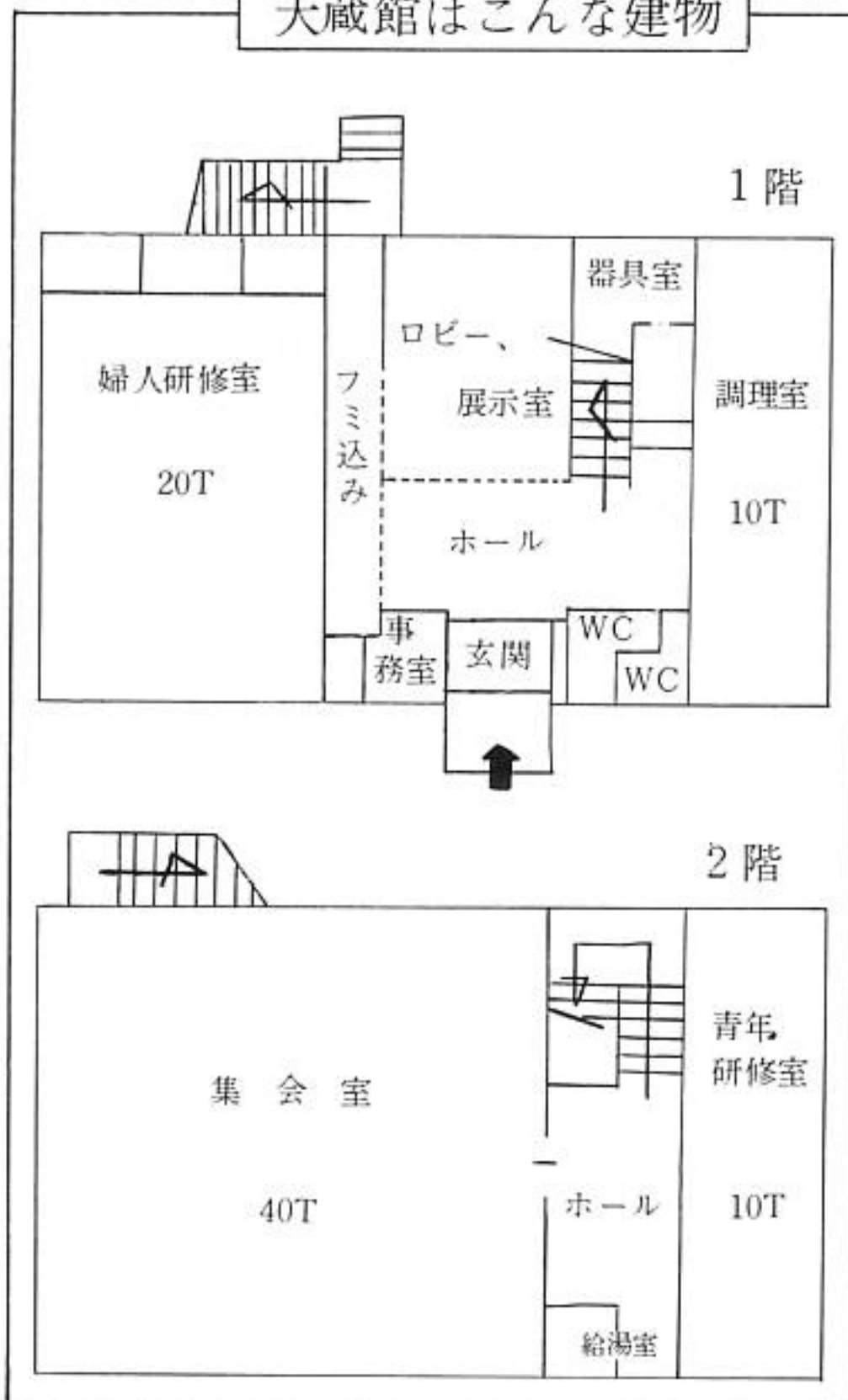


正面

蔵地区創作と 大蔵館オープン記念 展 夫工のしら

会場いっぱい
展示された作品
は参観者の目を
引きつける

大蔵館はこんな建物



また、午後には秋田県無形文化財に指定されている「猿倉人形芝居」が本荘市の木内勇吉一座によって行われ、会場の集会室いっぱい集った子どもやお年寄りたちから、盛んな拍手が寄せられていました。

展示会場の婦人研修室には、農産加工品、衣服手芸品、書画、愛宕、ワラ細工等々の力作が数多く並べられ、訪れた人たちの目を引いていました。

成人の日の一月十五日、蔵の大蔵館で「蔵地区・創作とくらしの工夫展」が開かれました。これは、同館オープン記念として、日常生活の中で色々と創意工夫している品々をお互いに発表、展示し合い、地域全体のくらしの向上を図ろう——と町公民館蔵分館や地域の婦人会、青年会、若妻会、農協婦人部、壮寿会（老人クラブ）が地域の人たちの協力を得て開いたものです。

最近ではほとんど見ることの出来なくなった「生の人形芝居」を、孫と一諸に懐かしそうに見るおじいさん、おばあさんたちは、昔の楽しかった思い出がよ



変り身の早い
人形の動きに、
笑いのうずが
巻きおこる

みがえり、また、地区の人たちにとつてはまさに「小正月にふるさとを再発見」の嬉しい一日のようでした。
以下、カメラでその状況と、合わせて「大蔵館」を写真紹介します。



調理室



ロビー・展示室



青年研修室

“まだ若いから”と油断は禁物

二月一日～七日は成人病予防週間

二月一日から七日まで、成人病予防週間です。ふだん健康に自信をお持ちのあなたも、この機会に一度健康診断を受けましょう。自分の健康状態をいつもつかんでおく——これが病氣予防の第一です。

人は血管と

ともに老いる

二十八人——五十三年の一年間に、わが町ではこれだけの方が成人病で亡くなっています。総死亡者、五十一人のうち、なんと五四・九割を占めています。その内訳を見ますと、

(成人病)(死者・割合)
▽がん 十人(一九・六割)
▽脳卒中 九人(二七・六割)
▽心臓病 九人(二七・六割)

亡くなった方のうち、五

一人が脳卒中、心臓病ということになります。日本人の寿命は、世界でも一、二位を争うまでに延びましたが、一方で、成人病がその“魔の手”を広げています。

人は血管とともに老いる、といわれます。四十代、五十代と

いへど、平均寿命までは、まだ二、三十年”などという油断は禁物です。成人病の“元凶”といわれる高血圧は、四十代で一六割、五十代では三〇割にもなっているのですから。

ちなみに、六十代は四二割、七十代になると五四割——二人に一人は“高血圧者”なのです。年齢に応じた食事と適度な運動で、ふだんから健康の自己管理に気を配りましょう。



成人病予防は幼児期から

日本女子大学教授 武藤 静子

わが国を含めて先進諸国では、成人病がふえています。その“元凶”の一つにあげられているのが、かたよった食生活です。動物性の油脂や砂糖、塩分のとりすぎ、野菜や果物の不足——などが指摘されていますが、このような食生活の改善は、大人になってからでは遅すぎる、という考え方が強くなっています。成人病の“下地”は、幼児期からの食生活でつくられる——つま

り、成人病は小児科の問題とまでいわれるほどです。最近、子供の栄養や食生活に関心を持つお母さんが増えたことは、たいへんいいことだと思います。ただ一方で、熱心さの

子供の好きなものをせつせと与えているご家庭も少なくないようです。こうした食生活が長く続くと、栄養のバランスがくずれ、不健康な体をつくるものになります。また、食塩のとりすぎを防ぐには、子供のときから薄味になれる食習慣をつけておくことが大切です。食生活は、幼児期から、過不足のないバランスのとれた栄養をとることに心がけてください。

成人病予防は 血圧の管理から

だれでもできる、そして一番大切な成人病の予防は、血圧の管理です。

そのためには、まず自分の血圧を知らなくてはなりません。健康診断の時などに血圧を測ってもらいましょう。血圧は、運動、緊張、体の具合、寒さ、その他いろいろの原因で変化します。何回か測ってみて、自分の本当の血圧を覚えておきましょう。

血圧が最高一六〇、最低九五以上の人は塩分のとりすぎに注意しましょう。日本人は平均して一日十五グラムの塩を摂取しているといわれています。これは塩中毒の一手手前の摂取量です。この半分にする必要があります。

それぞれの家庭の味は、長い間の慣れで、簡単に変えられませんが、少しずつ薄味に変えていくようにしましょう。

WHO (世界保健機構) 血圧判定

区分	最大血圧		
	140未満	140以上160未満	160以上
最小血圧	90未満	正常血圧	
	90以上95未満	境界域高血圧	
	95以上		高血圧

※境界域高血圧=安心してもいけないが、心配するほどのことのないという正常血圧と高血圧の“中間値”。

働きと国保

“資格の異動届”
原則的には本人

雪もなく穏やかな暖冬で迎えた正月でしたが、現在はいよいよ年どおりの厳しい寒波の季節となっており、故郷を後に遠くで働いておられる出かせぎの皆さんのところはどうかでしようか。

さて、今月は出かせぎによる社会保険等への加入とその後の国保への手続きについてもう一度お知らせし万全を期すことにしたいと思います。

正月帰省中に出かせぎ先で加入した社会保険等の被保険者証あるいは会社等が発行した証明書を持参して資格異動の届出をされた方がたくさんおられますが、中には、こうした手続きは就労先の会社や事業所等が自動的にやってくれるものと誤解されている方も見られます。

資格異動に伴う届出は原則的には本人が行うことになっていますので、誤解してまだ手続きを終えてない方は速やかに済ませるようにしてください。届出をされないで、出かせぎから帰省後に「保険

に二重加入したから」と税の還付を申出られてもうけられられない場合があります。

就労袋の一号様式

証明を付し役場へ

届出は、出かせぎ就労袋に同封してある様式一の「国民健康保険被保険者資格喪失届」に就労事業所等の証明を付して持参した被保険者証とともに役場住民課へ送付していただいても結構です。

世帯主の資格異動の場合はその扶養家族も一緒に行うことが大切です。これには税務課が発行する扶養証明書を必要とすることが多いので会社等就労先に確かめた上、所定の手続きを行ってください。

国保の被保険者証を携行して働いている方が、就労中にケガをした場合は労災の適用となりますし、他人によって傷害をうけた場合(交通事故やケンカ等)は、国保の適用がうけられません。

以上、資格の異動に関して簡単にお知らせしましたが、疑問点は係宛おたづねください。どなたも元気で就労できますようお祈りいたします。

冬道は進む度胸より

止まる勇気!!

無火災の誓いも新たに

暖冬の中で消防出初め式



実践に強い消防団になるよう
努力する——と答える佐藤団長

新春恒例の町消防団出初め式は、一月六日に東田利中学校体育館で開催され、町消防団、婦人消防隊、東田利分署員など約三百五十人のほか、町議会議員など多数の来賓が出席し、無火災と水害などの災害防止への誓いを新たにしました。

当日は暦の上では小寒の入りで、例年ならば雪の中で行われる出初め式も、今年は三十年ぶりの暖冬正月といわれ、田んぼの稲株も顔を出し、青空が広がる中で春を思わせるような陽気の中で行われ、集った団員もいささか拍子抜けの感じ。

式は君が代の斉唱で始まり、観閲につづいて告示に立った町長は「……消防団員は町民の期待に沿うべく努力してほしい。また、家庭の台所をあくまで八十五名の私設消防隊の皆さん

も、その地域に合った組織作りを行ない、地域の、そして町の火災予防思想普及推進に努力してもらいたい……」と要請しました。

このあと、六十八個人と蔵婦人消防クラブに表彰状及び感謝状が贈られ、さらに、町議会議長、由利福祉事務所長、本荘警察所長、東田利分署長らからお祝いと激励のことがあり、受賞者を代表して第四分団長の工藤俊雄さんが「……幹部を中心

に今後ますます消防精神を堅持し、一致団結、町民の生命、財産を守るため更に精進します……」と答辞を述べました。

さらに、佐藤団長が「……消防機械・施設の充実と合せ、火災予防思想の普及に努める一方、訓練に励み、実践に強い消防団になるよう努力します……」と力強く答辞を述べ、最後に全員

で万歳を三唱して式を閉じました。

昨年は町内で九件の火災が発生しており、関係者は「今年こそ無火災の町に……」と話していました。

なお、受賞者の氏名等は次のとおり。()内は所属分団等。

【知事表彰】●有功章 工藤俊雄(四) ●30年勤続 佐藤力(団長) ●25年勤続 石渡力造(副団長) 小松正幸(一)

●20年勤続 小松勤治(五) 【県消防協会会長表彰】●功労章 畠山淳悦(副団長) 長谷山一恵(五) ●勤続章(15年以上)

庄野洋一(二) 佐藤正志(一) 小松勝男(五) 小野邦一(五) 小松秀悦(三) 鈴木隆(五)

畑山修二(二) 木島俊悦(四) ●勤続章(10年以上) 佐藤与一(一) 遠藤正輝(二) 大日向良一(四) 小野勤(五)

小松俊秀(二) 畠山正博(二) 佐藤邦雄(一) 【町長表彰】●模範団員 小松惣一(一) 小松義憲(二)

高橋重四郎(二) 畠山俊雄(三) 阿部勝治(四) 工藤正悦(四) 遠藤熊雄(四) 佐々木勝明(五) 遠藤芳裕(五)

佐々木千代志(五) 【団長表彰】●甲種精勤章 小野金蔵(二) 麻生清一(二)

菊地賢一(二) 高橋善男(二) 小野修治(四) 阿部敏夫(四)

伊東茂夫(四) 遠藤辰雄(四) 佐藤隆(三) ●乙種精勤章 小松久賢(二)

佐藤利一(五) 佐々木徳昭(五) 鈴木政雄(五) 鈴木正

昭(五) 小松佳和(二) 佐藤誠(二) 伊東国広(四) 阿部陽悦(四) 阿部司(二) 長谷山光一(二) 斎藤和正(五)

【町長感謝状】●退職団員 村上種次(前分団長) 小野米作(前副分団長)

【県知事感謝状】●消防協力団体 蔵婦人消防クラブ ●消防施設用地協力者 佐々木隆二(大琴) 畠山清(舟打場) 庄野慶治(五海保) 横山松雄(泡の湧) 阿部剛(蔵) 畠山繁記(上通) 佐々木舜治(大琴)

【本庄地区消防事務組合管理者表彰】●火災早期発見・通報・初期消火協力者 小野美知夫(下吹) 小野武(下吹) 浅田誠(大琴) 佐々木正輝(大琴) 畑山美喜子(大琴)

【消防庁長官表彰】●退職団員 高橋新一(元二) (敬称略)

農業基本調査 にご協力を

農業の実態を調査し、県ならびに市町村農業行政の基礎資料を得るための「秋田県農業基本調査」が、今年も二月一日現在で行われます。

個々の調査結果は統計法によって秘密が厳守され、個人の利益にならないよう保証されています。

調査員が各農家を訪問しますので、よろしくご協力をお願いします。



町の概要	
人口総数	6,430人
うち男	3,163人
うち女	3,267人
世帯数	1,468戸
面積	148.51km ² (54.1.1)

親子でタコづくり

手づくりの喜び胸に

一つのタコを親子が一緒に作ることで心の触れ合いを深め、古里づくりをすすめるよう」と、町教育委員会と公民館では一月七日、玉来小学校体育館で「親子でタコづくり教室」を開きました。

この教室は昨年に続いて二回目、小学四年から六年までの子ども、それにお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんなど約五十人が参加、暖房のきいた体育館で楽しい一日を過ごしました。

骨の組立てを受け持つ父親も真剣

午前中、子どもたちがタコ絵を描き、大人は骨の組立てと分担して作業を進めました。タコ絵の中にはマンガの主人公



も多くあり、現代っ子の一面をのぞかせていました。

また、参加者の中には昨年もタコ作りをした人が六人もおり、さすが初めての人よりは絵を描くスピードも早く、一足早く完成させていました。

午後からは、よいよタコ揚げ、しかし、あいにく風があまりなく、せっかくのタコもすぐ地上を這ってしまい、グラウンドのあちこちでは残念がる声がしきりに出ていました。

何んでもお金で買うことが出来、手製のものが少なくなった現代に、親たちの手を借りながらも苦労して作りあげたこの「タコ」は、子どもたちの胸に思い出となったようです。

社福だより

故長谷山三弥殿のご遺族(地下の沢、長谷山千代蔵さん)より、香典返しとして五万円が届けられました。

故人のご冥福を衷心よりお祈り申し上げます。

り申し上げます。

は、最低賃金法により罰せられますので必ず守って下さい。

繊維産業は1日2,400円 ＝最低賃金法改正＝

秋田県内の事業場及び労働者に適用される最低賃金は次のとおりです。

最低賃金の件名	最低賃金額	効力発生年月日
秋田県最低賃金	1日 2,231円(1時間 279円)	53. 10. 12
食料品製造業	1日 2,507円(1時間 314円) ただし雇入れ後6月未満の者については 1日 2,323円(1時間 291円)	
繊維産業	1日 2,400円(1時間 300円) ただし雇入れ後6月未満の技能習得中の者については 1日 2,258円(1時間 283円)	
木林製品家具装飾品製造業	1日 2,617円(1時間 328円) ただし雇入れ後6月未満の技能習得中の者については 1日 2,374円(1時間 297円)	
出版・印刷・同関連産業	1日 2,515円(1時間 315円) ただし雇入れ後6月未満の技能習得中の者については 1日 2,299円(1時間 288円)	53. 12. 25
機械金属製品等製造業及び自動車整備業	1日 2,642円(1時間 331円) ただし(1)雇入れ後6月未満の技能習得中の者 (2)電気部品の組立て又は加工の業務のうち主として卓上において行う組線、巻線、はんだ付け、又は検査の業務に主として従事する者については 1日 2,364円(1時間 296円)	
卸売業・小売業	(1) 卸売業・自動車小売業 1日 2,638円(1時間 296円) (2) 小売業 1日 2,466円(1時間 309円)	
全国金属鉱業等	1日 4,005円(坑内労働者のみ(坑内組込を含む))	53. 2. 1

尚、不明の点がありましたら本庄労働基準監督署(電話〇一八四二二一四二四)又は、

秋田労働基準局賃金課(電話〇一八八八二一六六八)におたずね下さい。

受験生の食事と健康

主婦の一口メモ

受験勉強も最後の追込みです。しかし、二月に入りますと徹夜勉強はボツボツやめ、朝型の生活に切り換える準備が必要。そして栄養のバランスがとれた食事と適度な運動で、体力を十分に蓄え、絶好の体調で受験に挑んでほしいものです。

- ① 大脳の栄養になる食品
良質のたんぱく質を含んだ牛乳、スキムミルク、卵、魚、肉や大豆の加工品
- ② 神経のバランスを整える食品
カルシウムを含んだ牛乳、乳製品、小魚など
- ③ 脳の神経の疲労を予防する食品

例えば栄養の面では、また、夕食後勉強する場合の食事の量は腹八分目におさえることも重要です。一度に沢山食べますと、消化のため血液が胃に集まり、大脳まで行かなくなってしまうからです。夕食の不足分は、軽い夜食で補いましょう。



誕生
おめでとう

12月21日～1月20日



佐藤 隆介 上通 広信 長男
遠藤 陽子 新町 千代志 二女



結婚
おしあわせに

阿部 正悦 桂台
遠藤 信子 下小路
佐藤 秀志 宇戸坂
島山 さつき 横浜

○お悔み申し上げます
小松ハルノ 下通 88歳
佐々木ナツエ 大琴 65歳
伊東喜十郎 島 73歳
小松麻衣子 久保 73歳
小松一正 松柴 53歳
小松篤之助 畑村 71歳
小松雄治郎 下小路 76歳